

作成番号:0254

一般社団法人 日本侵襲医療安全推進啓発協議会 「会員向けメールマガジン」

号数:2025-254

内容:更年期ホルモン補充療法の心血管疾患リスクは？

出典:Contemporary menopausal hormone therapy and risk of cardiovascular disease: Swedish nationwide register based emulated target trial.

BMJ (Clinical research ed.). 2024 Nov 27;387:e078784. pii: e078784.

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/39603704/>

閉経後 10 年以上または 60 歳を超えてからの経口エストロゲン・プロゲステン療法開始は、心疾患、脳卒中、静脈血栓塞栓症のリスクが増加する可能性が示唆されているが、現行更年期ホルモン補充療法の心血管疾患リスクに関する研究は不足している。後者に関して、スウェーデン・ウプサラ大学の研究者らが無作為化比較試験(RCT)を模倣する target trial の結果を BMJ 誌 2024 年 11 月 27 日号に報告した。

2007 年 7 月～2018 年 12 月の間に過去 2 年間ホルモン補充療法を行っておらず、心血管疾患やがんならびに子宮・両側卵巣摘出術の既往歴がない 50～58 歳の女性が対象、8 つの群(持続的経口併用療法、逐次的経口併用療法、経口エストロゲン単独療法、経口エストロゲン+レボノルゲストレル放出子宮内システム併用、合成ホルモン剤 tibolone、経皮併用療法、経皮エストロゲン単独療法、ホルモン補充療法を開始せず)のいずれかに分類した。主要エンドポイントは、静脈血栓塞栓症、虚血性心疾患、脳梗塞、心筋梗塞であった。それぞれ個別または複合のアウトカムとして解析し、ハザード比(HR)および 95%信頼区間(CI)を推算した。解析対象は 919,614 例で、このうちホルモン補充療法を開始した女性が 77,512 例、開始しなかった女性が 842,102 例であった。追跡期間中(2 年間)に、主要エンドポイントのイベントは 24,089 例に発生した。10,360 例(43.0%)で虚血性心疾患、4,098 例(17.0%)で脳梗塞、4,312 例(17.9%)で心筋梗塞、9,196 例(38.2%)で静脈血栓塞栓症が発生していた。tibolone は、ホルモン補充療法を開始しなかった女性と比較して虚血性心疾患のリスク増加と関連していた(HR:1.52、95%CI:1.11～2.08)。また、tibolone (HR:1.46、95%CI:1.00～2.14)、ならびに持続的経口併用療法(1.21、1.00～1.46)は、虚血性心疾患のリスクが高かった。持続的経口併用療法(HR:1.61、95%CI:1.35～1.92)、逐次的経口併用療法(2.00、1.61～2.49)、および経口エストロゲン単独療法(1.57、1.02～2.44)は、静脈血栓塞栓症のリスクが高かった。tibolone は脳梗塞(HR:1.97、95%CI:1.02～3.78)および心筋梗塞(1.94、1.01～3.73)のリスク増加と関連していた。

以上から、経口エストロゲン・プロゲスチン療法は、虚血性心疾患および静脈血栓塞栓症のリスク増加と関連していたが、合成ホルモン剤 tibolone は、虚血性心疾患、脳梗塞、心筋梗塞のリスク増加と関連していたが、静脈血栓塞栓症とは関連していなかった。

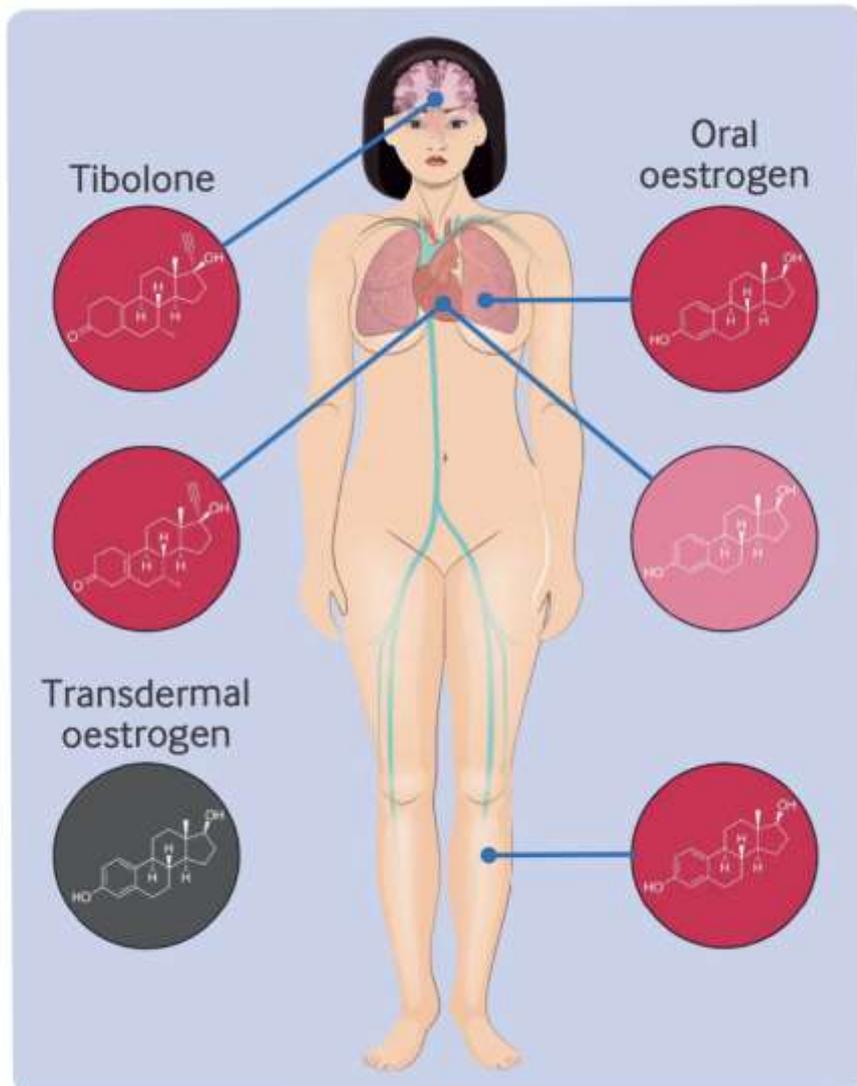


Fig 5 | Illustration synthesising results of study. Tibolone was associated with increased risk of arterial thrombotic events, including ischaemic heart disease, myocardial infarction, and cerebral infarction, but not venous thromboembolism. Increased risk of venous thromboembolism and a small increased risk of ischaemic heart disease were found with use of oral continuously combined contemporary menopausal hormone therapy. No strong evidence was found that transdermal oestrogen increases risk for any diseases studied. Red=strong/intermediate effect; pink=small effect; grey=no effect detected